平成23年度　広島市立五日市南中学校　道徳教育全体計画

教育関連法規ほか

日本国憲法　教育基本法
学校教育法　学習指導要領
広島市教育行政施策の重点

各教科の重点目標

国語

〇国語による表現力と理解力とを育成すると共に言語感覚を豊かにすることを通して、感性や情操を豊かにし、相手の立場や考えを尊重し望ましい人間関係を築こうとする態度を養う。〇国語を尊重する態度を養い我が国の文化や伝統を大切にする心を育てる。

社会

〇国際社会に生きる平和で民主的な国家、社会の形成者としての自覚を持ち、自由、権利と責任、義務との関係を正しく認識し、権利、義務の主体者として公正に判断しようとする態度や能力などの公民的資質の基礎を養う。〇我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深める。

数学

〇事象を数理的に考察し表現する能力を高め、数学的な見方や考え方を活用することで筋道を立てて考えたり表現する能力を育成する。〇数学を活用して考えたり判断することを通して、工夫して生活や学習をしようとする態度を育成する。

理科

〇生物相互の関係や自然界の釣り合いについて考えさせ、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を育成する。〇科学的に探究する能力を育て、科学的な見方や考え方を養い、道徳的判断力や真理を大切にしようとする態度を育成する。

音楽

〇表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽活動の基礎的な能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。〇合唱や合奏などの活動を通して協力する大切さや仲間の大切さを味わわせる。

美術

〇表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、美術の創造活動の喜びを味わい美術を愛好する心情を育てると共に、感性を豊かにし、美術の基礎的な能力を伸ばし、美術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。

保健体育

〇生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育てると共に健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図る。〇運動における競争や協同の経験を通じて、公正な態度や規則を守り協力して責任を果たそうとする態度を育てる。〇基本的生活習慣の確立をはかり明るく豊かな生活を営む態度を育てる。

技術・家庭

〇生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術を習得し、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる。〇工夫、創造の喜びを体験する中で勤労観や職業観などを醸成する。〇家族や家庭について理解し家族への敬愛の念を深めると共に、家族や地域社会の一員としての自覚を持たせる。

英語

〇広い視野から国際理解を深め、国際協調の精神を養う。〇自国や世界の国々の生活や文化についての理解を深めると共に、言語や文化に関する関心を高め、これらを尊重する態度を育てる。

言語・数理運用科

〇情報を取り出す力、思考・判断する力：様々な情報の中から必要な情報を取り出し、自分の価値判断に従って思考をする力を向上させることで、道徳的判断力や真理を追究する態度を養う。
〇思考・判断する力：他の人の意見を聞き、自分の考えを見直すことを重ね、様々な立場の意見に耳を傾け、広い視野に立って自己の生き方を考えようとする態度を養う。
〇表現する力：自分以外の立場に立って、分かりやすい説明をすることを繰り返すことで、いろいろなものの見方や考え方があることに気づき、謙虚に他に学ぶ姿勢を育成する。

総合的な学習の時間

〇自分の生活と地域や社会の事象とのかかわりについて、探究的な学習を通して、自分の興味・関心に基づいた課題を設定する。主体的に判断し学習活動を進めたり粘り強く考え解決しようとする資質や能力を育成する。
〇設定した課題を自らの力で調べ、よりよく解決するため、情報を収集・選択・活用するなかで、体験活動を仲間とともに積極的に行う。このことを通して、自己の目標を実現しようとしたり、他者と協調して生活しようとしたりする態度を育てる。
〇多角的なものの考え方を身につけ、自分の考えをまとめ、さらなる探究を自ら行うなど、自分の生き方につなげる。

朝読書

〇読書に親しみ、感性や情操を豊かにし、落ち着いて心豊かに生活する態度を育てる。
〇言語活用力を育成し、他者の気持ちを理解し、よりよい人間関係を築こうとする姿勢を育てる。

学習規律の確立

学校教育目標

学ぶことと生きることの2つが1つになる生徒の育成
～地域の未来を生むチャイムのない学校へ向けた
開発的生徒指導を通して～

・生活に密接し、卒業後も世の中に出て役に立つ教科横断的な思考や、活用だけでなく探究していく姿勢を義務教育小中9年間（特に小5より5年間）という発達段階に応じて育てる。
・自らを大切にし、ともに高めあう生徒の育成
・生徒の思いを受け止め、心に深く入ることができる教師集団

道徳教育の重点目標

(1) 自主的に考え、向上心を持てる生徒
(2) 支え合い、共に考え行動する生徒
(3) 自他の人格を尊重し、自分と異なる考えや立場を理解できる生徒

各学年の道徳教育の重点目標

第１学年

・中学生にふさわしい生活習慣（ノーチャイム、コミュニケーションボードの活用、礼儀）を身につける。
・各自の個性や考え方を尊重し、他に学び、自己の向上を図る。
・人間のもつ弱さを認め、その克服に努め、思いやりの心が持てる。

第２学年

・支え合い励まし合う中で、共同で学び合うことができる。
・一人ひとりの個性や立場を理解し、協力して何事にも取り組むことができる。
・正しく判断し、自らの意思で行動し、結果について深く考え、責任を持とうとする。

第３学年

・自主的に考え、自分や社会に対して誠実に行動し、結果について責任をとろうとする態度を育てる。
・一人ひとりの個性や立場を認めそれぞれの自己表現に向け、激励・援助ができる。
・勤労や奉仕を通して充実した生き方を追求し、実現していこうとする。

道徳教育の指導方針

・各教科、特別活動、総合的な学習の時間と道徳の時間との関連を図った指導を推進し、体験に根ざした道徳的価値の自覚を図る。
・生徒の発達段階及び各学年の実態を考慮して指導内容を系統的に整理し、重点化を図る。
・教師と生徒、生徒相互の人間的なふれ合いを重視し、生きがいと思いやりの心をはぐくむ学年、学級経営の充実を図る。
・全校共通理解の基に、道徳的行為の基盤となる基本的生活習慣の徹底を図る。
・学校、家庭、地域社会が連携し、生徒の道徳的実践の充実を図る。

道徳教育の推進体制

1　全教職員が密接に連携し、全教育活動を通じて道徳教育の目標及び学校教育の目標の達成を図る。
2　推進体制
(1)教務部に道徳教育担当教員を定め、指導の充実を図る。
(2)道徳教育担当教員の役割
①道徳教育の指導計画の作成に関すること。
②全教育活動における道徳教育の推進、充実に関すること。
③道徳の時間の充実と指導体制に関すること。
④道徳用教材の整備、充実、活用に関すること。
⑤道徳教育の情報提供や情報交換に関すること。
⑥授業の公開や家庭地域との連携に関すること。
⑦道徳教育の研修の充実に関すること。
⑧道徳教育における評価に関すること。
(2)研究推進委員会において、道徳教育を含め授業研究、研修を進める。

補充・深化・統合

道徳の時間の指導

・道徳的価値及びそれに基づいた人間としての生き方についての自覚を深め、道徳的実践力を育てる。
・人間らしい生き方を生徒と共に探求し、より良い人生をめざす意欲を育てる。
・教師と生徒の人間的なふれあいを深める。
・生徒の心情を揺さぶる資料の収集と活用に努め、指導法を工夫する。

豊かな体験活動の充実

生徒の実態

本校の生徒は比較的落ち着いて学習することができている。学校評価アンケート調査によると、「自分はやればできる」という問いに対して、肯定的な回答をした生徒は約74%であった。また、「先生は、学校生活のいろいろな場面で励ましたり褒めたりしてくれると思う」という問いに対しては77.9%の生徒が肯定的に回答しており、割合は比較的高いが、もう一つ高めていく必要がある。教職員の取り組み以上の結果がでていないことが課題として上げられ

地域の実態

一戸建ての住宅やマンションが建ち並ぶ静かな住宅街の中に位置する。校区内に五日市南小学校と楽々園小学校があり、お互いの距離も近い。同じく小中一貫・男女共学の私立学校もある。小小中が地域と共に子どもを育てていこうとする取り組みを進めている。

学校の実態

分掌と研究それぞれで、校内組織しっかりしていることで、複数の教員できめ細かく手厚い取り組みが可能となっている。

教師・保護者の願い

・自らを大切にし、ともに高め合う生徒
・あいさつと掃除ができる生徒
・自分たちで授業をつくり、とのに行う事ができる生徒

特別活動

学級活動

学級の諸活動を通して、望ましい人間関係を形成し、集団の一員としての学校や学級におけるより良い生活づくりに参画し、協力して諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度や健全な生活態度を育てる

生徒会活動

生徒会活動を通して、望ましい人間関係を形成し、集団や社会の一員としてよりよい学校生活づくりに参画し、協力して諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度を育てる。学校内外の美化・環境整備を図る。

学校行事

〇表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、美術の創造活動の喜びを味わい美術を愛好する心情を育てると共に、感性を豊かにし、美術の基礎的な能力を伸ばし、美術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。
学校行事を通して、望ましい人間関係を形成し、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養い、協力してより良い学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる。

野外活動

・一人ひとりが自分の役割と責任を自主的に果たし、みんなが安全に気持ちよく過ごすために必要な「共同生活のルール」を身につける。
・いろいろな集団活動をする中で、互いのよさとやる気を引き出し、認めあえる集団、自分たちの力で一つのことを成し遂げられる集団に成長する。

修学旅行

・自主研修や係活動を通じて、学年や学級の人間関係を深め、一人ひとりが自主性と責任感を持って生き生きと活動できる集団になる。
・日本の伝統文化に触れ、そのよさを体感するとともに、人と人とのふれあいの楽しさを再発見する機会とする。

職場体験

・職業調べや職場体験を通して、働くことの意義を考え、忍耐、責任感の大切さなどの学ぶとともに、自己を見つめ、自分の成長や個性や価値観に気づき、これからの生き方を考える。
・自分の特技や個性を生かして働いている人、自分の可能性を追究して活躍している人の生き方を探り、自分の夢を追って努力する姿、さらに自分を高めようとする生き方に共感する。
・地域の人たちとのコミュニケーションや、仲間と協同的に取り組むことを通して、社会人としての礼儀やマナーを身に付けるとともに、自分の役割を果たすことの楽しさ、自己有用感を学ぶ。

生徒指導

・生徒一人ひとりの健全な育成を図る。・集団の中でのルールや社会的なマナーを身につけさせ、秩序ある学校生活を確立する。・生徒が意欲的、自主的に活動する力を増進させる。・学校生活のさまざまな活動の中で、豊かな心を持つ生徒を育てる。

進路指導

1年：自己の能力、適性について考えると共に、将来の進路について関心を高める。2年：自己の特性を知り、長所を伸ばして向上する態度を育てる。3年：自己を総合的に理解しまた反省しつつ将来のあり方を考え、進路選択決定が具体的になるようにする。

部活動

学年、学級の所属を離れて、共通の興味・関心を持つ生徒を持って組織し、教師と生徒、生徒相互の心のふれあいを基盤とした集団活動を通して、豊かで充実した学校生活を経験させる。

学級経営

・道徳教育の成果は、学級における日常生活の中に反映されるという認識に立ち、道徳の目標や内容に示される道徳性の具現化に努める。・共感的、受容的な生徒理解と望ましい学級風土づくりや人間関係の醸成を図る。・学級経営計画の作成する　・朝や帰りのg学活、清掃や給食など全活動を通して道徳性を育成する。

家庭・地域との連携

・家庭との信頼関係の確立・PTAとの理解、協力関係の確立・地域清掃活動・保護者懇談会・授業参観・地域行事への積極的参加

情報教育

インターネットのWebページや電子メールなどの情報を取り扱う際の情報モラルを育成する